

# THE RECORD

RIAJ 社団法人 日本レコード協会

平成6年11月1日発行

RECORDING INDUSTRY ASSOCIATION OF JAPAN

〒104 東京都中央区築地2-8-9 Tel (3541)4411(代)

平成6年11月号 No. 420

## レコードファン感謝祭 '94

### ―廃盤特別謝恩セール―大盛況

一昨年より実施し、今年で三回目を迎えた「廃盤セール」ですが、去る10月29日〜30日の二日間に亘り昨年同様、東京、港区の東京タワーホールリングセンター1F特設会場にて実施されました。

初日の29日は、夜中より駆け付けた熱心なファンを含め、開場前に長蛇の列ができ、9時30分には千名近くのファンが集まったため、当初の

予定より20分繰り上げて9時40分に開場しました。

今年も、これまで二回の経験によりスタッフの対応も慣れており、大変スムーズな運営ができ、混乱もなく無事終了することができました。

廃盤セール委員の皆さんを初めとし、メーカー各社から多数駆け付けていただいた応援スタッフの皆さん本当にご苦勞様でした。

今年のお品数は、9千6百タイトル／26万5千枚で昨年の東京会場分と比較して、タイトル数で昨年をやや下回り、出品総数で昨年を上回る状況でした。

今年の入場者数は、初日が4千6百人、二日目が3千人で合計7千6百人ということで、初日、二日目共前年、前々年を下回りました。

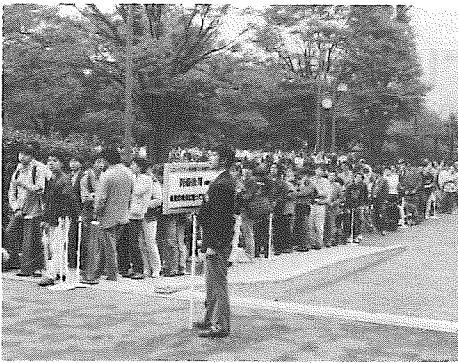
一方、売上に関しては初日が、3万6千枚／3千3百万円、二日目が1万8千枚／1千5百万円で合計5万4千枚／4千8百万円と金額ベースではこれまでに最高の売上結果となりました。

これは、購入率、客単価において

昨年を大きく上回ったことが影響しています。

初日は、小雨のバラつく中、集まっていたいただいたファンにより会場と同時にクラシック、アナログコーナーを中心に大盛況な状態が続き、クラシックのセット物等をまとめ買いする姿が目につき客単価も8千2百円と過去最高を記録しました。

二日目は、早朝開場前のファンの列は3百人程度でしたが、雨も降らず終始穏やかな気候だったため、午後になっても、入場者が途絶えず、常時、会場内で五百人〜六百人程度のファンが商品を選んでいる状態が夕方まで続き、家族連れや、比較的



初日(10月29日) 早朝から開場を待つファン



熱心に商品を選ぶファン

今年の実績及び昨年の東京会場分との比較

開催日	10/29(土)	10/30(日)	計	前年比
入場者数(人)	4,596	2,979	7,575	73%
購入客数(人)	4,009	2,264	6,273	78%
購入率(%)	91%	76%	83%	
売上総枚数(枚)	36,363	18,372	54,735	107%
売上総額(千円)	32,852	15,092	47,944	118%
一人当り単価(円)	8,195	6,666	7,643	150%
同枚数(枚)	9.1	8.1	8.7	136%
出品枚数(枚)			265,470	143%
消化率(%)				21%

高齢者の方が、ゆったりと買い物している姿が印象的でした。また、アナログ盤は出品数が少なかった割に、ファンの人気が高く、初日でほとんど完売の状態となり、二日目は出品できない状態となりました。

今年は、三回目ということもあり、マスコミによる事前の盛り上がりもなく、また出品タイトル数も昨年よりやや下回ったため、心配していましたが、盛況裡に終了することができました。

なお、昨年と同様、主催は日本レコード協会加盟27社、協賛は日本レコード協会、日本レコード商業組合、全国レコード卸同業会でした。

## IFPI理事会・臨時総会開催

去る10月4日、メキシコシティにおいて、IFPIの理事会と臨時総会が開催されました。

今回の会議では、組織改訂とこれに伴う定款の改訂が大きな議題となりました。

### 一、組織改訂及び定款改訂

従前のIFPIの組織は、ロンドンの本部が全世界の活動の中心となっていました。今回の改訂により、地域ごとの特色に応じた、より地域に密着した活動を推進していくことになりました。

このため、4地域に理事会及びこれに類する活動母体が新設されることとなり、ヨーロッパ地域理事会、アジア/太平洋地域理事会、北米連絡委員会、ラテン・アメリカ理事会の設置が決定されました。

これらの組織は、各地域内における

- ① 海賊対策、
  - ② 地域内の国の著作権法の整備、
  - ③ レコード製作者の保護強化のためのロビー活動
- 等に取り組んでいくこととなります。

### 二、法的問題

## 臨時総会開催

現在WIPO(知的所有権機関)で検討されている、実演家とレコード製作者の保護に関する新文書に關し、インフォメーション・スーパ・ハイウェイ・ネットワークの実現を間近に迎えた欧米のレコード産業界は、デジタル時代におけるレコードの利用形態が益々多様化することが予想されるとして、従来の検討に加えて、デジタル対応の保護強化が検討されるべきであることを提唱していることが報告されました。

### 三、市場問題

メキシコ、UAE(アラブ首長国連邦)、サウジアラビア、中国等、海賊版の多い国の状況が報告されました。

特に中国については、センサーシップ(検閲)制度の採用により、違法複製物の輸出入及びCDの受注生産を規制して市場を浄化し、これと併せて、外国企業に対する中国政府の規制緩和を促し、外国のレコード会社が市場アクセスし易い環境を作り出すため、アメリカとEU(ヨーロッパ連合)が協調体制をとって政府に働き掛けていくことが報告されました。

### 三、臨時総会

組織改訂案が採択された後、イタリアのレコード会社S.A.A.R.のIFPIからの除名に関する裁決が行われました。同社は、IFPIの会員でしたが、無断複製レコードやプライベートレコード(ライブコンサート)の隠し録り等を製造販売してきており、IFPI定款に基づいて事務局から提案されたものですが、この提案が満場一致で採択され、同社はIFPI会員資格を失いました。

## 「不正商品防止フェア」開かれる

当協会も会員となっている不正商品対策協議会は、10月6日(10日)の間、富山県で開かれた「まなびピア in 富山94」の一会場である富山テックホールで「不正商品防止フェア」を実施しました。

会場には、不正商品「ニセモノ・ホンモノ」コーナーに海賊版CDや海賊版テープ、またバッグ等の有名ブランド商品の偽物と本物を比較展示したり、知的所有権の知識に関するパネル展示コーナーやクイズコーナーを設けるなどして、来場した約一万人の一般ユーザーに不正商品に対する啓蒙が行われました。

## マルチメディア製作者 連絡協議会設立

著作権審議会マルチメディア小委員会の「マルチメディア・ソフト製作者と権利者間で権利処理の在り方について協議する団体を形成すること」との提言をうけて、本年7月、権利者側の団体として「マルチメディア問題に関する著作権連絡協議会」が設立されましたが、製作者側の団体として、10月4日、「マルチメディア製作者連絡協議会」が設立されました。

会員は、コンピュータソフトウェア著作権協会、日本コンピュータ・グラフィックス協会、日本書籍出版協会、日本電子機械工業会、NHK日本ビデオ協会などの21団体で、当協会もこれに参加しました。

今後は、両協議会がそれぞれマルチメディアに関する諸問題の調査研究を行なうとともに、両協議会間で意見交換が行なわれます。

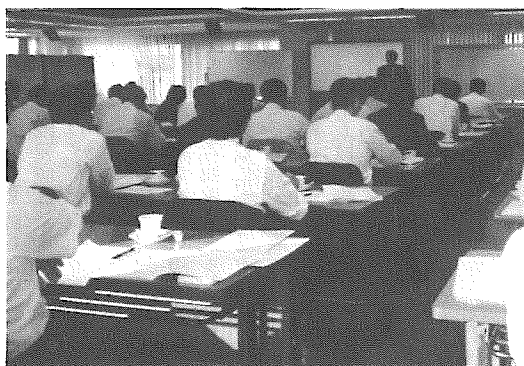
代表幹事にはコンピュータソフトウェア著作権協会の横山俊朗副理事長、副代表幹事に日本電子出版協会の合庭惇副会長代行、日本ビデオ協会の秋山多喜男専務理事、マルチメディアソフト振興協会の中山孝雄調査部長が選ばれ、当協会の木村常務

理事も8人の幹事の一人に選任されました。

## PL(製造物責任)法 研修会開催

去る10月12日、東京八重洲の大東京火災海上保険(株)本社別館8階会議室において「PL法と企業に求められる対応」というテーマでPL法の研修会が実施されました。

平成7年7月にPL法が施行されますが、このため当協会では技術委員会消費者専門部会(現在10社で構成)を会員社全社の組織に改組して



研修会風景

対応することになりました。

今回は、新組織の第一回会議として、大東京火災海上保険新種業務部より講師として小林信彦氏をお迎えし、「PL(製造物責任)法とは」「企業に求められる対応」というテーマで、法の解説、外国での判例、質疑応答などが行われました。

会場には会員各社より、約60名が参加し、熱心に聴講する姿が印象的で、この問題に対する関心の高さが伺われました。

今後は、新体制での専門的勉強会の実施、製品マニュアル、表示・取扱説明などの作成、消費者情報の収集検討を進めていく予定です。

## MPA『第一回オリ ジナル・ソングコンテス ト』表彰式開催

MPA加盟の九州地区四社「RK Bセレナ音楽出版(株)」、(株)KBC音楽事業社、(株)MBCエンタープライズ、(株)くす音楽出版)の主催、(社)日本音楽著作権協会(社)音楽出版社協会、(社)日本レコード協会の三団体後援により実施された『第一回オリジナル・ソング・コンテスト』の表彰式が、去る10月7日、福岡市の福岡ビューホテルにて開催されました。

このコンテストは、MPAの事業

委員会・関西連絡会が中心となって、著作権思想の普及、地方における音楽著作物の創作活動の振興、MPA会員間の交流の活発化を目的として企画されたもので、第一回に当たる今回は、九州地区四社により実施されました。

今回の応募総数は五百九曲で、予選、最終審査の結果、最優秀賞一曲、優秀賞二曲、特別賞一曲が選ばれ、表彰されました。

また、表彰式に先立ちMPA九州地区会員の皆さんと、当協会より参加した鈴木広報室長により「レコード業界の現状」と題した勉強会が実施され、熱心な意見が交わされました。

〔表彰者・表彰作品〕

〈最優秀賞〉

作品…「ANOKORO(あの頃)」

作曲…柳康幸

作詞・歌唱…神田里美

〈優秀賞〉

作品…「見つめていたい」

作曲・作詞・歌唱…細破一徹

〈優秀賞〉

作品…「遙かなる道」

作曲・作詞…吉沢弘樹

歌唱…太田琴

〈特別賞〉

作品…「あはれ」

作曲・歌唱…阿武野逢世

## Q盤ウィンター キャンペーンスタート

当協会の需要拡大事業の一環として今夏よりスタートし、徐々にユーザーに浸透し、実績を上げていく「Q盤」ですが、いよいよ11月上旬より年末、年始にかけて、第二弾ピークとして「ウィンターキャンペーン」がスタートします。

キャンペーンの概要に関しては、既にお知らせしましたが、その後も好調な実績に後押しされる形で、各

## 第43回オーディオフェア開催

(社)日本オーディオ協会は、10月13日(木)～17日(日)の5日間、東京、池袋のサンシャインシティ・コンベンションセンターTOKYOで第43回のオーディオフェアを開催しました。

今年のフェアでは、CDで幕を開けたデジタルオーディオ時代も、12年目を迎え、CDの高音質再生をテーマに各社のブースでデモが行われました。

また、CD-Gをはじめ、ビデオCD、カーナビゲーションなどホームマルチメディアの核となるような

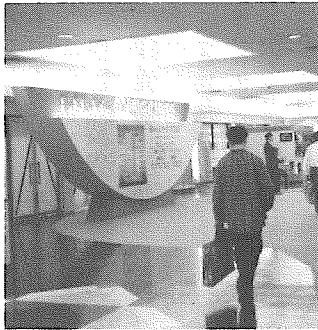
社からのQ盤商品の発売予定が増加し、10月末現在で集計したところ、今年中に、既発商品と新譜商品を合わせて千四百タイトルを越える状況です。

店頭からの「Q盤」認知を狙った大量配布の「ポストスター兼用チラシ」を始め、宣伝告知用ツールも11月下旬に店頭に着し、12月上旬には、朝日新聞(東京・大阪)朝刊全十五段広告

・地方紙全五段広告  
・週刊文春/ESSE広告  
など、広告宣伝のピークを迎えます。

新メディアが各社より提示されていきました。

会場ではイベントとして、ジャズ演奏の生録会なども行われ、終始、賑わいを見せていました。  
今年のお品会社は64社、5日間の総入場者数は13万5千人でした。



オーディオフェア会場

## FOUNDATION FOR PROMOTION OF PROMIC MUSIC INDUSTRY AND CULTURE

(財)音楽産業・文化振興財団

文化振興財団ニュース

### 韓国の音楽市場を視察

報交換を行いました。  
また三団体による歓迎パーティーも催され、親睦を深めることができました。その後、慶州、釜山を訪問し市場視察を行い、帰国しました。  
今後、11月23～11月28日にかけて台湾に向けて第二次調査団を派遣する予定になっています。  
また、調査の終了後、同委員会は報告書を作成し、産業研究所へ提出することになっています。

(財)音楽産業・文化振興財団は昨年、アジア地域の音楽産業に関する調査、研究を目的に早稲田大学法学部の土井輝生教授を委員長とする委員会を設定し、中国の視察を実施しましたが、本年は、韓国と台湾の調査を実施することとし、去る10月2日より10月8日まで、JASRACの北田常務理事を団長とする調査団が韓国を訪問しました。  
調査団はソウルにおいて、市場視察と共に、音楽関連団体と会合を持ち、韓国音楽著作権協会(KOMCA)、韓国芸術実演者団体連合会では、その活動状況を中心に調査し、韓国音盤協会では、韓国におけるレコード産業の現状、海賊版問題、二国間の音楽文化の交流等について情



韓国音盤協会を訪問

日本レコード協会ヒットチャートデータによるランキング

平成6年9月度(8月21日~9月20日)のヒットチャートデータがまとまりました。これによる各ランクの5位までは次のとおりです。

順位	タイトル	アーティスト	発売元
<b>■邦楽・洋楽合同シングル 5位</b>			
1.	恋しさと せつなさと 心強さと	篠原涼子 with t. komuro	(SME)
2.	SPY	横原敬之	(WJ)
3.	VIRGIN BEAT	氷室京介	(TO)
4.	月	桑田佳祐	(V)
5.	がんばりましょう	SMAP	(V)
<b>■洋楽シングル 5位</b>			
1.	冬の散歩道	サイモン&ガーファンクル	(SME)
2.	愛を感じて	エルトン・ジョン	(PH)
3.	エンドレス・ラヴ	ルーサー・ヴァンドロス & マライア・キャリー	(SME)
4.	ホール・ニュー・ワールド	レジーナ・ベル & ビーボ・ブライソン	(SME)
5.	イエスタデイ・ワンス・モア	カーペンターズ	(PO)
<b>■邦楽・洋楽合同アルバム 5位</b>			
1.	Atomic Heart	MR. CHILDREN	(TF)
2.	Yin & Yang	CHAGE & ASKA	(PC)
3.	A PLACE IN THE SUN	今井美樹	(FL)
4.	DEEN	DEEN	(BG)
5.	Impressions	竹内まりや	(EW)
<b>■クラシックアルバム 5位</b>			
1.	大江 光ふたたび	海老彰子 (p)・小泉 浩 (Fi) 加藤知子 (Vn)	(C)
2.	「グレゴリアン・チャント」	シロス修道院合唱団	(TO)
3.	ヴァイオリンの夜	古澤 巖 (Vn)	(SME)
4.	グレゴリアン・チャントとモテット集	カベラ・グレゴリアーナ	(C)
5.	ベートーヴェン： 4大ピアノ・ソナタ集	スタニスラフ・ブーニン	(TO)
<b>■洋楽アルバム 5位</b>			
1.	マスター・オブ・ザ・リングス	ハロウィン	(V)
2.	冬の散歩道〜S & Gスターボックス	サイモン&ガーファンクル	(SME)
3.	II	ボーイズ・II・メン	(PO)
4.	グレイテスト・ヒッツ	シンディ・ローパー	(SME)
5.	Come	プリンス1958~1993	(WJ)

\* 日本コロムビア(C)/ビクターエンタテインメント(V)/キングレコード(K)/テイテック(TE)/ポリドール(PO)/東芝EMI(TO)/日本クラウン(CR)/徳間ジャパン(TJC)/ソニー・ミュージックエンタテインメント(SME)/日本フォノグラム(PH)/ポニーキャニオン(PC)/ワーナーミュージック・ジャパン(WJ)/アポロン(AP)/フォーライフレコード(FL)/バップ(VAP)/トラスレコード(TA)/ポリスター(PS)/アルファレコード(AL)/キティエンタープライズ(KT)/ファンハウス(FUN)/イーストウエスト・ジャパン(EW)/BMGビクター(BV)/NECアベニュー(NA)/WEAミュージック(WEA)/メルダック(ME)/ハミングバード(HB)/TDKコア(TDK)/メディアレモラス(MR)/AXEC(AX)/トイズ・ファクトリー・レコード(TF)/バンダイ(BD)/パイオニアLDC(PI)/MCAビクター(MV)/ロウキッドレコード(RO)/エイベックス・ディー・ディー(AV)/ピージーン(BJ)/ヴァインレコード(ZA)/BMGルームス(BM)/ビーグラム(BG)/ワン・アップ・ミュージック(EP)

9月度「ゴールド・アルバム」他認定作品

9月度のゴールド・アルバム他が次のとおり認定されました。

■アルバム (24作品)

- 2ミليون  
Impressions/竹内まりや (EW)
- トリプル・プラチナ  
Atomic Heart/MR. CHILDREN (TF)
- ダブル・プラチナ  
THE VERY BEST OF UNICORN  
/ユニコーン (SME)
- プラチナ  
Yin & Yang/CHAGE & ASKA (PC)  
Baby Faith/渡辺美里 (SME)  
DEEN/DEEN (BG)  
A PLACE IN THE SUN  
/今井美樹 (FL)  
ユニティ/ビッグ・マウンテン (BV)
- ゴールド  
LIFE/小沢健二 (TO)  
Couplet/高橋真梨子 (V)  
SWEET HEART/岡村孝子 (FUN)  
Expose/工藤静香 (PC)  
Vocallies/久宝留理子 (SME)  
PRESENTS  
/PRINCESS PRINCESS (SME)  
冬の散歩道〜S & Gスター・ボックス  
/サイモン&ガーファンクル (SME)  
天使にラブソングを...オリジナルサウンドトラック  
/オムニバス (PC)  
「グレゴリアン・チャント」(グレゴリオ聖歌)  
/シロス修道院合唱団 (TO)  
ライオン・キング オリジナルモーションピク  
チャーサウンドトラック/オムニバス (PC)  
ライト・ヒア・ライト・ナウ  
/ヴァン・ヘイレン (WJ)  
モンターजू〜ケニー・G グレイテスト・ヒッ  
ツ /ケニー・G (BV)  
ザ・ファンキー・ヘッドハンター  
/ハマー (BV)  
II/ボーイズ・II・メン (PO)  
マスター・オブ・ザ・リングス  
/ハロウィン (V)  
バラッズ/リチャード・マークス (TO)

■シングル (18作品)

- トリプル・プラチナ  
空と君のあいだに/フアイト!  
/中島みゆき (PC)
- ミリオン  
恋しさと せつなさと 心強さと  
/篠原涼子 with t. komuro (SME)
- ダブルプラチナ  
BOY MEETS GIRL/trf (AV)  
睡そらさないで/DEEN (BG)  
冬の散歩道  
/サイモン&ガーファンクル (SME)
- プラチナ  
SPY/横原敬之 (WJ)  
VIRGIN BEAT/氷室京介 (TO)  
早くしてよ/久宝留理子 (SME)  
月/桑田佳祐 (V)
- ゴールド  
がんばりましょう/SMAP (V)  
憧夢〜風に向かって/Be-B (TE)  
DRASTIC MERMAID/access (FUN)  
reduce/久宝留理子 (SME)  
LOVIN' YOU./KIX・S (AP)  
うまく言えないけど  
/To Be Continued (SME)  
マリア/T・BOLAN (ZA)  
OVER THE TROUBLE  
/織田裕二 (TO)  
俺色にそまれ/米米 CLUB (SME)

# 世界の話題

## アメリカ

### ■RIAA、 ステッカー法案に反対

9月12日、RIAA(米国レコード協会)は、ステッカー付きレコードの未成年者への販売を有罪とする法案に反対の証言をしました。

本法案は、民主党が6月に提出したもので、これが通過すれば、RIAAのステッカーが貼布されたアルバムを未成年者に販売した小売業者は、初回は25ドル、その後の販売には100ドルの罰金が課せられます。更に、これら商品を購入した未成年者は、100時間の社会奉仕の義務を負います。

業界が自発的に新譜への識別レベルの貼布を始めた1985年以来、RIAAは公衆、特に親に向けてレコードの本質を説明してきました。1990年に、RIAAはロゴを統一し、その有効性を高めました。

RIAAは、「本法案が通過すれば、1985年からの業界のステッカー貼付計画を脅かすだけでなく、レコードの歌詞内容を判定する重要な手段を失うことで、消費者をも傷つけることになるだろう。我々はこの違憲法案を拒否するよう委員会に要求する。」と証言しています。

(RIAA ニュース・リリースより)

## メキシコ

### ■IFPI、政府要人と接触

10月初旬にメキシコ・シティーで行われたIFPIの会議と行事は、国際的なレコード産業にとって同市場の開発が重要なテーマであることを反映していました。RIAA(米国レコード協会)、AMPROFON(メキシコ・レコード協会)と共に、IFPIの理事は、同国政府要人と会見し、ワールド・ミュージックにとって、また地域のタレントに対する投資の場としての同国の重要性を強調しました。

同国では、世界の平均を超える経済成長が見込まれていること、豊かでさまざまな音楽文化を持ち、1人当たりの年間アルバム購入枚数は1.8枚と高い値を示していることなどから、国際的なレコード業界にとって最も重要な潜在可能性を持つ地域の一つです。事実、正規品の売上げは、オーストラリア、スペインを既に抜いて世界第8位にあり、今後も目覚ましい発展の可能性を秘めています。CDの普及率に関しては、欧州の65%に対し、まだ30%と低調です。

海賊版問題は、IFPI会議での優先事項でした。1993年、海賊版の市場は中国に続き世界第2位で、市場の62%、1億枚(巻)が海賊版で、損害は1.96億米ドルに上り、著作権法に基づく同国政府の強力な執行が必要とされています。

海賊版の一掃は、成功したアー

チストの使用料増加だけでなく、海賊版に対する危惧から現在のところ差し控えられているレコード業界の音楽的才能の開発に対する投資も促します。同国の音楽家、アーティスト、作曲家たちは、メジャーの国際的スターとして自己を確立させることで、かつてない高い地位を得ます。しかし、海賊版が現在の高いレベルにある限り、アーティストの多くはこの機会を獲得できないでしょう。

東南アジアでの経験から、海賊対策の成功によって、市場が成長することが判っています。1987~92年の間、シンガポール、マレーシア、台湾、韓国の海賊版は減り、正規品が3倍に増え、各地域のタレントが最も恩恵を受けました。

現在、メキシコでの最大の被害者は、海賊版を出されているアーティストです。他人の作品を盗用し、搾取する大規模海賊業者だけが利益を得ており、彼等は、アーティストに報酬を支払わず、新人育成のための投資もせず、また政府への納税も怠っています。

同国の音楽業界の将来は、アーティスト、作曲家、製作者の経済的必要性の認識と、彼等が依存する市場を保護するための法律の採択と、執行をする政府の動向に掛かっています。

(IFPI プレス '94/10/3)

## 会議メモ(主なもの)

(10月1日~10月31日)

- 10・4 Q盤プロジェクト
- 10・5 営業部会
- 10・5 廃盤セール研究会
- 10・6 情報システム部会小委員会

- 10・7 音楽ギフトカード委員会
- 10・7 経理部会幹事会
- 10・11 レコード制作基準倫理委員会
- 10・12 法制委員会
- 10・12 貸レコード対策委員会
- 10・14 資材専門部会
- 10・19 業務委員会
- 10・19 著作権部会

- 10・20 ビデオ部会
- 10・20 技術委員会幹事会
- 10・21 洋楽企画専門部会
- 10・21 日本GD大賞委員会幹事会
- 10・25 洋楽宣伝専門部会
- 10・26 情報システム部会
- 10・27 JASRAC委員会
- 10・28 理事会

1994年 9月レコード生産実績

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオディスク

	9月 実績						1994年(1月~9月) 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
C	邦洋計	9,956	31	92	5,862	13	84	97,184	37	86	62,750	18	88
	邦洋計	235	1	129	137	0	121	1,964	1	100	1,100	0	93
	邦洋計	10,192	31	92	5,999	13	84	99,148	37	86	63,849	19	88
D	邦洋計	15,236	47	122	28,574	64	130	106,775	40	106	188,144	55	106
	邦洋計	6,856	21	88	10,246	23	85	58,804	22	109	89,363	26	110
	邦洋計	22,092	68	109	38,820	86	115	165,579	62	107	277,508	81	107
D	邦洋計	25,192	78	108	34,436	77	119	203,959	77	95	250,894	73	101
	邦洋計	7,091	22	89	10,383	23	86	60,768	23	108	90,463	26	110
	邦洋計	32,283	100	103	44,819	100	109	264,727	100	98	341,357	100	103
アログ	邦洋計	53	0	531	85	0	608	183	0	161	276	0	292
	邦洋計	34	0	86	66	0	84	215	0	42	395	0	39
	邦洋計	87	0	177	151	0	163	399	0	63	672	0	60
合計	邦洋計	25,245	78	108	34,521	77	119	204,143	77	95	251,170	73	101
	邦洋計	7,125	22	89	10,450	23	86	60,983	23	108	90,858	27	109
	邦洋計	32,370	100	103	44,970	100	109	265,126	100	98	342,028	100	103

表2. オーディオテープ

	9月 実績						1994年(1月~9月) 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
カセット	邦洋計	2,591	99	78	2,254	98	82	21,139	99	84	17,729	98	82
	邦洋計	38	1	82	40	2	71	280	1	63	324	2	57
	邦洋計	2,629	100	79	2,295	100	82	21,419	100	84	18,052	100	82
カートリッジ	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋計	2,591	99	78	2,254	98	82	21,139	99	84	17,729	98	82
	邦洋計	38	1	82	40	2	71	280	1	63	324	2	57
	邦洋計	2,629	100	79	2,295	100	82	21,419	100	84	18,052	100	82

表3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

	9月 実績						1994年(1月~9月) 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦洋計	2,374	100	173	2,169	100	226	15,970	100	304	15,210	100	300
邦洋計	1	0	391	1	0	131	50	0	56	75	0	218
合計	2,375	100	173	2,170	100	226	16,020	100	300	15,285	100	300

表4. ビデオレコード

	9月 実績						1994年(1月~9月) 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	1,677	49	94	4,491	41	73	12,082	48	96	37,085	42	88
テープ	1,715	51	124	6,448	59	109	13,200	52	114	52,072	58	104
合計	3,392	100	107	10,939	100	91	25,282	100	105	89,157	100	97

表5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

	9月 実績						1994年(1月~9月) 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	34,999	86	101	47,265	78	108	286,545	87	97	360,081	78	102
複合型CD	2,375	6	173	2,170	4	226	16,020	5	300	15,285	3	300
ビデオ	3,392	8	107	10,939	18	91	25,282	8	105	89,157	19	97
合計	40,766	100	104	60,374	100	106	327,847	100	101	464,523	100	103

備考 1. 本年実績は、会員会社「27社」の集計である。  
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

**AVソフトの購入実態と聴取音楽ジャンル**

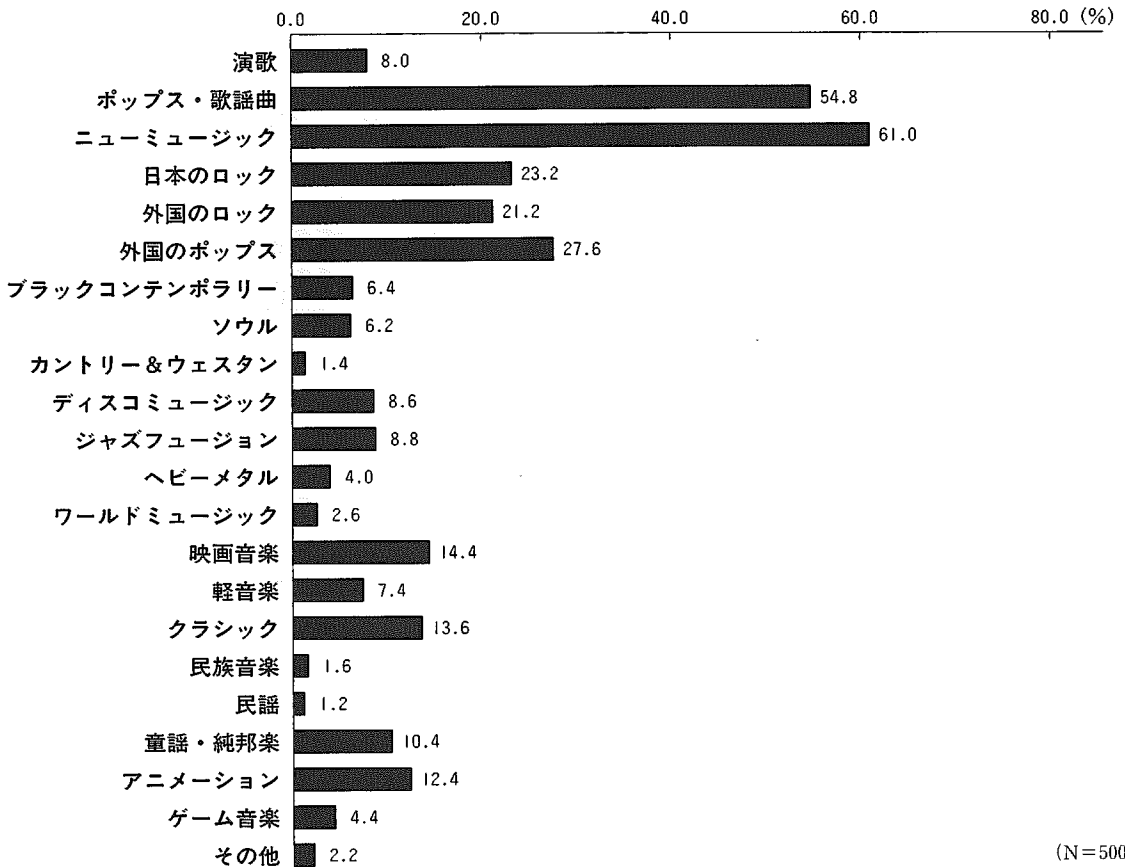
※本号は、『AVパッケージメディア消費者実態調査報告書』(1993年、日本レコード協会調査統計部会)から、その一部を紹介します。

**1. AVソフトの購入率の推移**

(N=500) %

	1988年	1989年	1990年	1991年	1992年	1993年
シングルレコード	16.2	8.0	6.0	3.2	1.8	4.0
LPレコード	19.4	9.6	8.6	3.6	2.0	3.4
ミュージックテープ	28.2	24.4	24.6	18.8	19.0	11.6
CDシングル	15.2	27.2	30.6	43.8	45.0	34.6
CDアルバム	28.2	43.6	46.6	59.0	65.5	56.0
市販録画済ビデオテープ	12.0	14.4	18.4	23.0	23.8	25.8
ビデオディスク	2.4	2.4	2.4	6.6	5.0	3.4
非購入	35.8	34.0	33.0	23.8	18.8	27.0

**2. 聴取音楽ジャンル**



(N=500)